

令和7年度 第3回医療提供体制検討部会 議事録

1 日時：令和8年1月22日（木）18：30～19：30

2 開催方法 Teams によるオンライン開催

3 出席者

【委員】（7名出席）

会場 : 赤羽委員

オンライン：丸木委員、清田委員、樽本委員、坪井委員、倉島委員、石北委員

【オブザーバー】星 永進 氏（元新型コロナウイルス感染症県調整本部長）

【事務局】本多参事、谷口感染症対策課長、楡井感染症対策副課長、森田行政・デジタル改革課主幹、

村松消防課主幹及び担当者

【傍聴者】一般の傍聴希望者なし

4 議題

・新興感染症発生時における病床確保や入院調整本部の在り方について

ア 前回部会での意見を踏まえた修正について

イ 今後について

5 内容

(1) 開会

(2) 議題

ア 前回部会での意見を踏まえた修正について

イ 今後について

資料に基づき事務局より説明した。

【主な意見】

- 入院待機ステーションは必要な時に早期に整備できるようにする必要がある。
- 調整本部の訓練を実施することは非常に良いことである。想定をしっかりと練ったうえで実施し、対応をブラッシュアップしていければよい。
- 仮に小児の患者が増えるといったような感染症が発生した場合は、計画どおりにいかないこともあり得る。
- DX はツール導入だけでなく平時からの運用習慣が不可欠。
- 特別養護老人ホーム等の施設では、施設内での対応を進められるようにするべき。
- 情報収集には医療機関側のリアルタイムの入力が重要である。